

草の根・人間の安全保障無償資金協力

「リロングウェ青年職業技術訓練センター建設計画」

署名式

2019年10月16日



写真：（左から）ジェレ国家青年評議会CEO，チュンガ・リロングウェ青年団体代表，柳沢大使，シムワカ青年・スポーツ・文化省次官

2019年10月16日水曜日、柳沢大使と、チュンガ・リロングウェ青年団体代表は、「リロングウェ青年職業技術訓練センター建設計画」に関する草の根・人間の安全保障無償資金協力贈与契約を締結しました。本贈与契約署名式は、在マラウイ日本国大使館で行われ、シムワカ青年・スポーツ・文化省次官も列席しました。

マラウイは、人口1,750万人の内34歳未満の若者が78%を占める若者の多い国です。この若者に十分な教育、訓練、仕事が提供されれば国の発展において非常に有益ですが、多くのアフリカ諸国同様に、マラウイも、若者への人的投資を怠ればせっかくの人的資源が生かされない危険があります。マラウイは近年、全国的に職業技術訓練校の建設を通じて男女の職業訓練と技術訓練を促進しています。この傾向を支援し強化するためにNGOも職業技術訓練センター建設を通じて同国の青年支援の役割を担うことができます。日本政府は、草の根・人間の安全保障無償資金協力プロジェクトを通じて、リロングウェ青年団体がリロングウェ市内にリロングウェ青年職業技術訓練センターを建設するための90,888米ドルを提供します。この資金により職業技術訓練センター、台所、トイレの建設及び家具や調理器具および水タンクの設置の費用が賄われます。

柳沢大使は、「リロングウェ青年団体は、若者が始めたコミュニティベースの団体であり、若者や女性、障害者を支援する同団体の活動に感銘を受けました。」と述べ、同団体の活動に協力する喜びを表明しました。また、このプロジェクトの成功が若者の雇用を高め、スキルのギャップを減らすことにつながるとして、プロジェクト成功への期待を表明しました。